

SUWADA
APOSTOLI LEGENDA

「彷徨える廃材」

SUWADA の商品は多くの犠牲の上に成り立っています。
例えば原材料を鍛造して心臓部になる本体を取り出した後は
その 7 割が犠牲になっています。
日々累々と重なるスクラップの山。
このスクラップでも、本来は製品になれるだけの力を備えていたものでした。

命を与えられなかった廃材は捨てられる運命の中でも
失われた自身の一部を求めます。

新月の夜、漆黒の闇から彼は現れます。
スクラップカゴの中から湧き出るよう、その姿を現します。
工場の中のどこかにあるに違いない、自分の一部を求めて彷徨います。
しかし夜が明け、光に当たってしまうとその力は
急激に失せて死んでしまいます。
そのため、真暗闇の晩にしか彼は動くことができません。

ある晩、工場の中を彷徨いコンテナの中を一つ一つ確かめていた彼は
異常に気付いたガードマンに見つかってしまいます。
「お前は誰ら！？」
彼は懐中電灯に照らされた瞬間、凍りついたように動けなくなり
その命を落としてしまいます。

これは単なるオブジェではなく、**SUWADA** の工場を彷徨い歩いていた
スクラップの聖体です。
その数全部で 12 体。今は **OPEN FACTORY** を護る精霊となりました。